地域福祉活動計画

「地域福祉活動計画」は、花巻市に暮らす高齢者や障がい者、子どもをはじめ、すべての住民が支え合い、安心して暮らし続けることができる「福祉のまちづくり」を進めるための計画です。
「住民福祉活動計画」「地域福祉推進計画」「基盤強化計画」の３つの計画で構成しています。

住民福祉活動計画	住民がすすめる福祉のまちづくりの目標であり、活動していくための計画。市内１０地区でそれぞれに福祉活動やまちづくりに携わる住民の皆さんと策定し、住民の「こんな地域にしたい」という思いや、「地域らしさ」を形にしたもの。
地域福祉推進計画	花巻市社会福祉協議会が住民や様々な団体・関係機関とともに、市域で地域福祉活動を推進していくための計画。
基盤強化計画	地域福祉を推進するために必要な、花巻市社会福祉協議会の組織や体制のあり方を示し、その基盤の強化を進めるための計画。

花巻市社会福祉協議会宮野目支部

花巻市社会福祉協議会では地域福祉の推進単位として花巻市を１０の地区に分け、その各地区に社協支部を設置しています。

【宮野目支部運営委員の選出団体】

宮野目コミュニティ会議、宮野目区長会、宮野目地区民生委員児童委員協議会、
宮野目地区老人クラブ連合会、宮野目学童クラブ、ＪＡいわて花巻女性部宮野目支部、
宮野目地区教育振興協議会、学識経験者

【宮野目支部の主な活動状況】

地域福祉活動　（ふれあいいきいきサロン活動への助成、赤い羽根共同募金活動 等）
児童福祉活動　（宮野目保育園との世代間交流、学童クラブへの助成 等）
高齢者福祉活動　（敬老会事業、ひとり暮らし交流会開催事業、安心カルテ整備 等）
障がい者福祉活動（小中学校での福祉体験授業 等）

【宮野目地区の年齢層別人口及び世帯等の状況について】

人口	5,186人 （男 2,520人:女 2,666人）
年少人口(0～14 歳)	645人(12.4%)
生産人口(15～64 歳)	2,863人(55.2%)
高齢人口(65 歳以上)	1,678人(32.4%)

行政区数	11 行政区
世帯数	2,003 世帯
一人暮らし高齢者世帯数	301 世帯
高齢者のみ世帯数	232 世帯

資料:花巻市 年齢別人口集計表(令和５年９月末)、花巻市 老人人口集計(令和５年９月末)

【宮野目地区の社会資源等の状況について】

コミュニティ会議数	１ヵ所	民生委員児童委員数	11 人	ふれあいサロン数	15 ヵ所
民生委員児童委員協議会数	１ヵ所	主任児童委員数	２人	医療機関数	２ヵ所
教育機関･学校数	幼･保 ５園 / 小学校 １校(学童クラブ１カ所) / 中学校 １校 / 高校 １校				
社会福祉施設数	高齢 ６施設 / 障がい １施設				

資料:東北厚生局 医療機関一覧表(令和５年11月１日)、花巻市 障がい福祉ガイドブック 2023

宮野目地区住民福祉活動計画

令和６年度～令和１０年度

我が事・丸ごと宮野目プラン

全ての人が住み慣れた地域で、自分らしく生き生きと生活していくためには、国や自治体が定めた一律の制度やサービスだけではなく、それぞれの地域の実情にあった住民同士の支え合いの仕組みが必要です。
地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、住みよい地域づくりを行っていくため、地域の福祉課題の解決に向けての目標を掲げ、目標の達成にむけて地域ぐるみの取り組みを推進するための計画です。

策定：宮野目地区小地域福祉活動計画策定委員会
編集・発行：花巻市社会福祉協議会宮野目支部
社会福祉法人　花巻市社会福祉協議会
問合せ先：花巻市社会福祉協議会宮野目支部
電話　0198-45-4666　　ＦＡＸ　0198-46-1171

宮野目地区

花巻市の中央部に位置し、いわて花巻空港や花巻 JCT・花巻空港 IC が立地する岩手県内陸部の交通の要衝となっています。
国道４号線の西側は、住宅・商業施設が集積している一方、東側には、自然豊かな田園風景が広がっています。
文化芸術活動においては、春日流上の山鹿踊やユネスコの無形文化遺産に登録された早池峰神楽の流れを汲む葛神楽をはじめ、古来より郷土芸能の伝承が盛んな地区です。

『私たちの地域を語ろう』から始まりました

花巻市社会福祉協議会宮野目支部では令和4～5年度にかけて『私たちの地域を語ろう』をテーマに地域福祉懇談会を4回開催しました。
宮野目地区の住民のみなさんと地域の理想像について意見を出し合い、理想の地域づくりに向けて、今できていること、できていないこと、地域の強みや弱み、福祉課題について意見交換しました。
懇談会で挙げられた住民の声や思いを基に、地域住民が主体的に取り組むための住民福祉活動計画として、3つの目標をまとめました。

【宮野目地区の特徴ある地域福祉の取り組み】

宮野目地区有償ボランティア事業推進協議会と連携した、
「花巻市介護予防・日常生活支援総合事業」の推進
（研修会の開催、公民館・ゴミ集積所へのポスター掲示、
チラシの全世帯配布 等）

（有償ボランティア研修の様子）

福祉でまちづくりを進めるために聞いた 住民の声や思い

子育て世代は
増加しているが、
交流する機会が
ない・・・

一見すると交通の便が
良いように見えるが、
買い物や通院に困って
いる高齢者が多くいる。

困りごとを
抱えていても、相談すること
が出来ない人がいる。

地元を一度離れると
戻ってくる若者が少
ないため、高齢世帯
が増加している。

住宅は増加して
いるが、コロナ禍
を経て、より一層
人間関係が希薄
化している。

有償ボランティア
事業を本当に必要
とする人のところ
まで情報が届いて
いないのでは・・・

同じ人が地域で役員を
掛け持ちしていて大変・・・

５年後こんな宮野目地区になっているといいな！！

★ 子どもが大人になっても住み続けたいと思える宮野目
★ 地域課題を我が事として、皆で支え合う宮野目
★ 子ども・高齢者・障がい者などが多様性を認め合う宮野目
★ 皆が地域での役割を持ち、いきいきと暮らせる宮野目

住民の声や思いをもとに考えた

地域の福祉を良くする３つの目標

誰もが、安心・安全で心豊かに暮らせる宮野目地区にしよう！

〇高齢者福祉施設と連携した大型車両の通院・買い物支援への活用に取り組もう。
〇有償ボランティア活動の担い手を確保することで、地域福祉への意識を高めよう。
〇「暮らしの保健室みやのめ」（なんでも相談所）を開設し、地域の困りごとを解決しよう。

誰もが、居心地のいい場所がすぐ近くにある宮野目地区にしよう！

〇地域行事やお祭りなどの交流の機会によって、住民同士の団結力を高めよう。
〇「春・夏・冬休み」の寺子屋事業を実施し、子どもの居場所づくりに取り組もう。
〇民生委員・地域団体と連携した地域住民が集える居場所づくりをしよう。
（例：フリースペースちゃべりば 等）

誰もが、地域内で役割を持ち、互いに配慮し・認め合う宮野目地区にしよう！

〇地域住民が福祉施設でボランティアする機会を創出しよう。
〇地域内の施設職員が地域行事・地域活動に参加できる場をつくろう。
〇子どもから高齢者まですべての住民が地域内で役割を持ち、いきいきと暮らせる宮野目にしよう。
（子ども：高齢者、障がい者の見守り、高齢者：小中学生の登下校時の スクールガード活動 等）